

令和7年度福岡市人権尊重週間 第54回福岡市人権を尊重する市民の集い

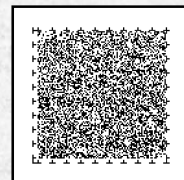
福岡市人権尊重行事推進委員会では、人権が真に尊重され、差別のない住みよい福岡市の実現に向けて、昭和47年から福岡市人権尊重週間(12月4日～10日)に各種行事を実施しています。
本年度もその取組みの一つとして「福岡市人権を尊重する市民の集い」を下記のとおり各区で実施いたします。

- 開催時間は午後2時から午後3時40分で、講演時間は90分です。
- 講演は事前申込不要で当日先着です。
- 詳細はホームページをご確認ください(右側の二次元コードよりご覧いただけます)。



開催日	区	演題・講師	定員
12/4 (木)	西	 外国人と仲良く暮らせる日本を目指して ピーター・フランクル さん(数学者・大道芸人)	450人
12/5 (金)	博多	 マンガと偏見の複雑な関係 ～メガネ男子や大食漢がヒーローになれないのはなぜ?～ 吉村 和真 さん(京都精華大学理事長・マンガ学部教授)	500人
12/6 (土)	城南	 ぼくの宝物 嵯峨根 望 さん(東京パラリンピック シッティングバレーボール日本代表)	録画配信有 450人
12/8 (月)	東	 部落差別の現在 ― 部落解放への展望 内田 龍史 さん(関西大学社会学部教授)	録画配信有 500人
12/9 (火)	中央	 それで、よかよか ～寛容の精神が醸成される社会へ～ 齋藤 真人 さん(学校法人立花学園立花高等学校校長)	録画配信有 200人
12/9 (火)	早良	 深刻化するネットいじめ その現状と大人の役割 渡辺 真由子 さん(ジャーナリスト・メディア教育評論家)	録画配信有 500人
12/10 (水)	南	 スマホ世代の子どもとどう向き合うか ～SNS、ゲーム、ネットいじめの問題を考える～ 石川 結貴 さん(ジャーナリスト)	録画配信有 800人

- 手話通訳・要約筆記を実施します。
- 会場へは、公共交通機関をご利用ください。
- 録画配信視聴希望の方は、12月24日(水)までにホームページ内の申込フォームよりお申し込みください。
- 講師プロフィール、会場、お問合せ先は裏面をご覧ください。



Uni-Voice

講師プロフィール	会場・お問合せ先
12月4日(木) ピーター・フランク ルさん 1953年ハンガリーでユダヤ人として生まれる。祖父母はアウシュヴィッツ収容所で殺され、自身も差別を受けた経験がある。1971年国際数学オリンピック金メダル受賞。1977年博士号取得。1979年フランスに亡命。1988年から日本在住。ハンガリー学士院メンバー。算数オリンピック大会会長。日本ジャグリング協会名誉顧問。語学にも長けており12ヶ国語を操る。その才能を活かし110か国以上を訪問している。現在は人生を楽しくするコツ等をより多くの日本人に伝えたいと、講演活動に力を入れている。	西部地域交流センター (さいとびあ) 西区西都2丁目1番1号 西区生涯学習推進課 TEL 895-7026 FAX 882-2137
12月5日(金) 吉村 和真さん 1971年、福岡県生まれ。京都精華大学マンガ学部教授で専門は思想史・マンガ研究。「マンガを読む」ことが日常生活に定着するまでの歴史と、そのことが人間の思考や価値観にもたらす影響について研究中。2001年の日本マンガ学会設立や2006年の京都国際マンガミュージアム開館など、マンガ研究の環境整備と社会還元を推進してきた。主な業績に、『「はだしのゲン」がいた風景—マンガ・戦争・記憶』(編著、2006年)、『差別と向き合うマンガたち』(共著、2007年)など。	博多市民センター 博多区山王1丁目13番10号 博多区生涯学習推進課 TEL 419-1025 FAX 419-1029
12月6日(土) 嵯峨根 望さん 1987年大阪府和泉市で先天性四肢障がい児として生まれ、両足に義足を履いて生活している。幼い頃は義足を履いている自分をスーパーマンだと思い、前向きに過ごしていたが、心ない言葉などにより少しずつ人との違いを隠すようになった。そんな中、ある出来事があり、障がいを受容することができた。また、シッティングバレーボール選手として東京パラリンピックで日本代表選手として出場。自身のYouTubeチャンネルで、障がいがあってもなんでもチャレンジする姿を発信している。	城南市民センター 城南区片江5丁目3番25号 城南区生涯学習推進課 TEL 833-4043 FAX 822-2142
12月8日(月) 内田 龍史さん 大阪市立大学大学院文学研究科人間行動学専攻社会学専修修了。博士(文学)。尚絅学院大学総合人間科学部現代社会学科講師、准教授、教授を経て、現在、関西大学社会学部教授。専門は、差別と共生の社会学。現代の部落問題を中心に、マイノリティ(少数派)であるがゆえにマジョリティ(多数派)から見過ごされがちな差別・排除、さらには災害などの社会問題について研究。著書に、『部落問題と向きあう若者たち2』(解放出版社)ほか多数。	東市民センター 東区千早4丁目21番45号 東区生涯学習推進課 TEL 645-1144 FAX 645-1042
12月9日(火) 齋藤 真人さん 平成3年から宮崎県内の中学校教諭として勤務。平成16年に立花高等学校教頭募集に応募し採用。平成19年より校長に就任。平成22年には理事長も兼任され平成28年からは校長を専任。立花高等学校は不登校生徒自立支援の教育方針のもと、「心の癒し」に重点を置いた教育実践が大きく注目され現在、心のよりどころを求める子どもや親たちから支持されている。「いいんだよ」の共感的理解の大切さを精力的に全国各地で講演を行っている。	健康づくりサポートセンター (あいれふ) 中央区舞鶴2丁目5番1号 中央区生涯学習推進課 TEL 718-1067 FAX 714-2141
12月9日(火) 渡辺 真由子さん 1998年慶応義塾大学卒業後、テレビ局報道記者として勤務。いじめ自殺問題取材し、日本民間放送連盟賞最優秀賞などを受賞。退職後、メディア・リテラシー先進国カナダで研究。帰国後は「尊厳を重んじあう社会」の実現へ向け、ネットやSNSと賢く付き合うノウハウを伝授。豊富な取材経験に基づく、青少年心理の分析に定評。社会人大学院客員教授、内閣府・東京都の有識者委員を歴任。著書に『オトナのメディア・リテラシー』、『大人が知らない ネットいじめの真実』ほか多数。	早良市民センター 早良区百道2丁目2番1号 早良区生涯学習推進課 TEL 833-4401 FAX 851-2680
12月10日(水) 石川 結貴さん 家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待などをテーマに取材。豊富な取材実績と現場感覚をもとに多数の話題作を発表している。スマホやネットがもたらす数々の社会現象を追い、利便性の背後にある新たな問題を提起した『スマホ廃人』(文春新書)は、2024年に第55回大宅壮一ノンフィクション賞の最終候補に選出された。出版のみならず、専門家コメンテーターとしてのテレビ出演、全国各地での講演会など幅広く活動する。	南市民センター 南区塩原2丁目8番2号 南区生涯学習推進課 TEL 559-5172 FAX 562-3824